

分野
計画

まちごと元気！
健康せつつ21

生活習慣病の早期発見・重症化予防

- がん検診の推進
- 特定健診・特定保健指導の推進
- 循環器疾患対策の推進
- 糖尿病対策、慢性腎臓病(CKD)対策の推進



生活習慣の改善

- 栄養・食生活 ●運動・身体活動、社会環境
- 休養・睡眠
- こころの健康 ●喫煙 ●飲酒
- 歯と口の健康 ●母子保健



健康・医療のまちづくり

- 病診連携
- 地域医療の向上
- 感染症予防



指標(KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値(令和7年度)
健康寿命	男性 79.3年 女性 83.6年 (平成30年)	平均寿命の伸びを上回る延伸
悪性新生物SMR (標準化死亡比)	男性 114.0 女性 108.5 (平成25~29年)	100未満
日常生活で歩行または同等の 身体活動を1日1時間以上 実施している人の割合	男性 60.2% 女性 57.4%	男性 65.0% 女性 62.0%

福祉
7-5

健康



基本
方向

市民がともに支え合い、まちごと元気に健康で心豊かに生活できる活力のあるまちの実現をめざします。

現状と課題

生活習慣病の発症・重症化を予防

平成30年の健康寿命は、男性で79.3年、女性で83.6年となっており、横ばい・微増傾向が続いています。死因別死亡割合に占める生活習慣病(がん、心疾患、脳血管疾患など)の割合は、依然として半数を超えている状況です。

生活習慣病の多くは、適度な運動、バランスの取れた食生活などにより予防することができるとされており、個人・地域での健康づくりを進めることが重要です。また、疾病の早期発見・早期治療、重症化予防に向けた保健事業の充実、各種健診の受診率向上などに取り組む必要があります。

感染症への備え

感染症予防に向けては、市民に正しい知識等の情報を発信していくとともに、予防接種率の向上に取り組む必要があります。また、新型インフルエンザ等対策の体制

を整えておかなければなりません。感染が拡大している新型コロナウイルス感染症に対しては、国・大阪府と連携し、ワクチン接種等に適切に対処していく必要があります。

健康・医療のまちづくり

摂津市と吹田市の両市にまたがる北大阪健康医療都市(健都)では、国立循環器病研究センターを中心とした先進的な健康・医療のまちづくりを進めています。今後は、健都の関係機関と連携した予防医療や健康づくりの取組を進めていく必要があります。北摂地域は大阪府内でも比較的医療体制が充足していますが、一次・二次・三次救急を含めた広域的な医療体制の充実が課題となっています。市民がかかりつけ医を持ち、また、各医療機関の役割に応じて適切に受診をしていただけるよう、情報発信が必要です。

